消　防　団　編

1．福山市消防団

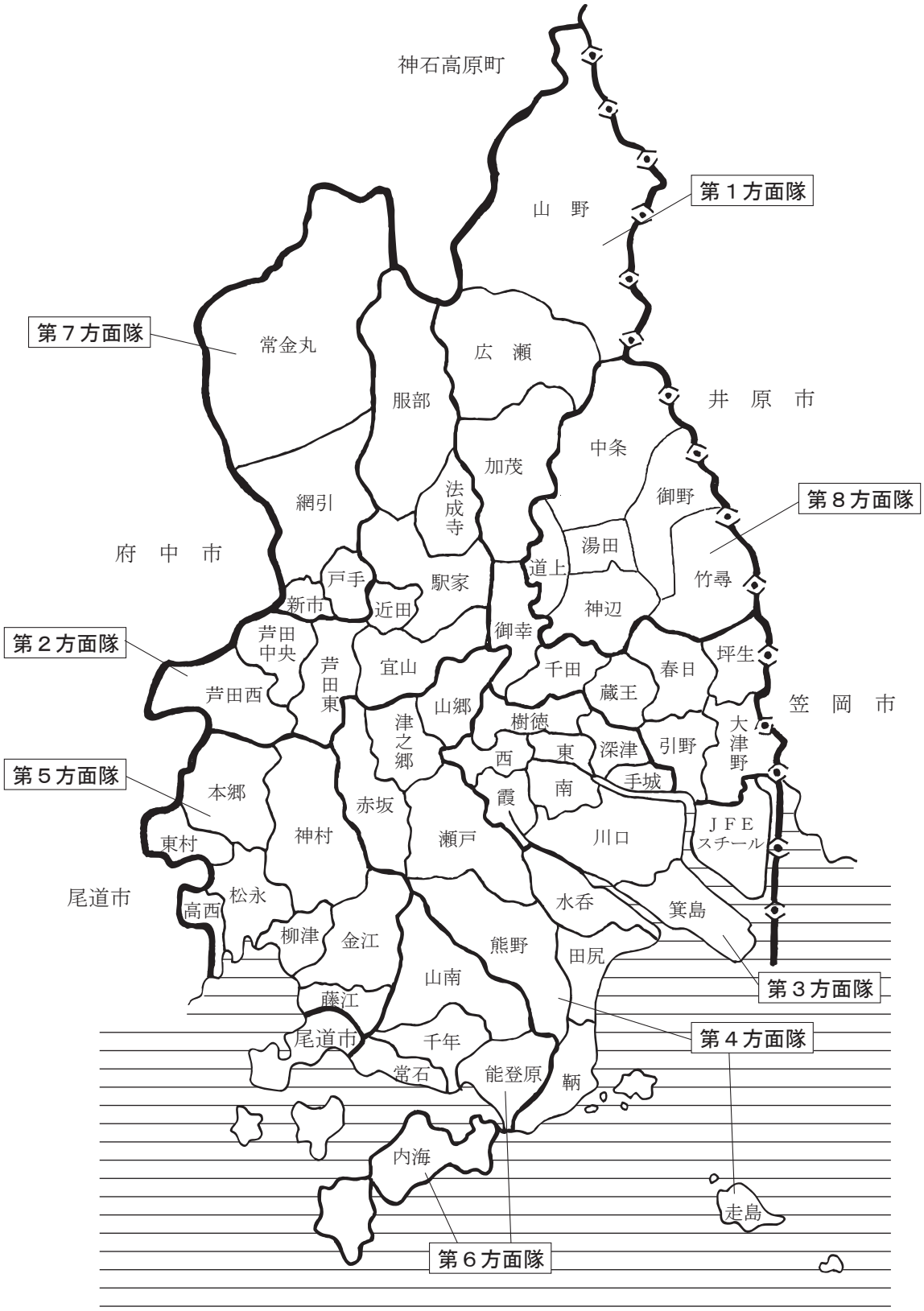
2021年(令和３年)４月１日現在

人　　口	465,402 人
世　　帯	212,621 世帯
面　　積	517.72 ㎢

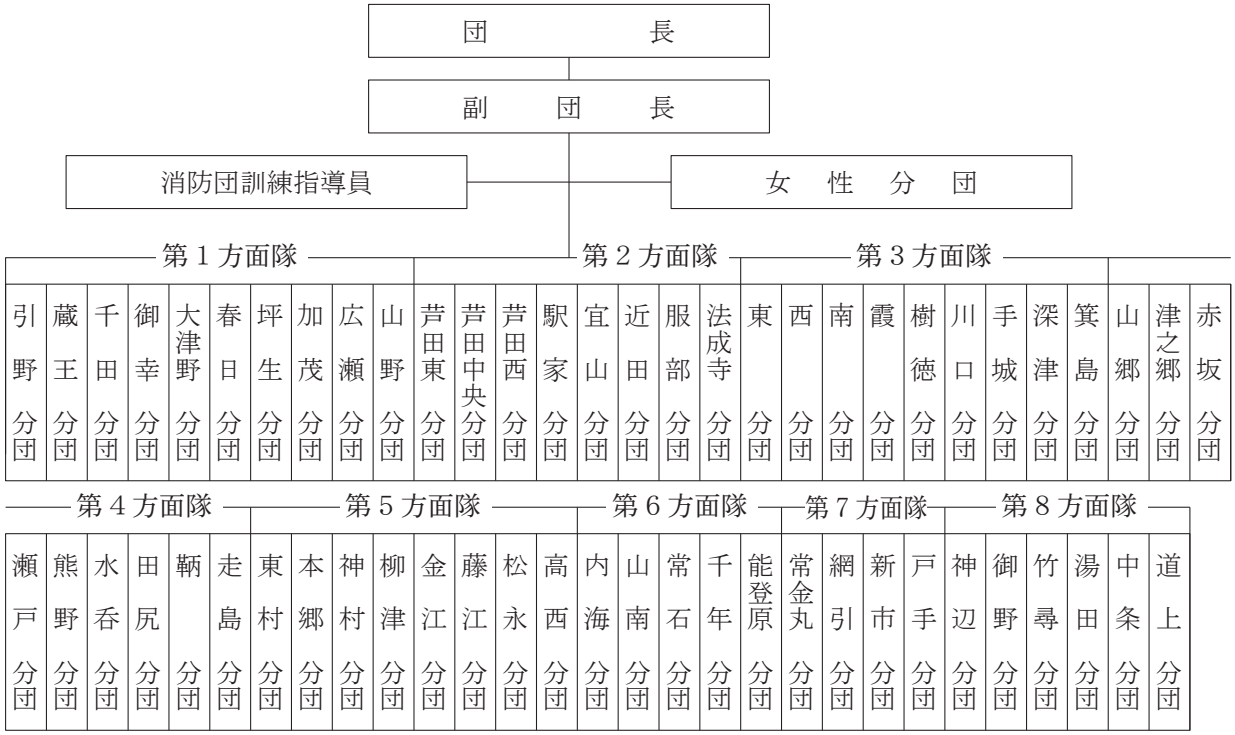
福山市章

福山城跡のある城山は，もと蝙蝠（こうもり）山と言われ，蝠は福に通ずることから福山と言われました。その蝙蝠と山をかたどったものです。

(1) 消防団の分団配置図


神石高原町
山　野
第１方面隊
第７方面隊
常金丸
広　瀬
服部
井　原　市
中条
加茂
法成寺
御野
網引
第８方面隊
湯田
府　中　市
道上
竹尋
戸手
駅家
新市
近田
神辺
御幸
第２方面隊
芦田中央
芦田東
宜山
千田
春日
坪生
芦田西
蔵王
笠　岡　市
山郷
樹徳
津之郷
大津野
深津
引野
西
東
第５方面隊
手城
本郷
南
赤坂
霞
ＪＦＥスチール
東村
神村
瀬戸
川口
尾道市
松永
高西
水呑
箕島
柳津
金江
熊野
田尻
山南
第３方面隊
藤江
尾道市
千年
第４方面隊
常石
能登原
鞆
内海
走島
第６方面隊

(2) 消防団の組織図



(3) 消防団の定員と報酬

2021年(令和３年)４月１日現在

区分＼階級	計	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員
定員	2,864	1	9	69	120	172	172	2,321
職務報酬	(年額)	82,500	69,000	50,500	45,500	38,000	37,000	36,500
出動報酬	出動１回につき3,500円以下（火災・風水害・訓練等）							

(4) 消防団員退職・新任状況

2020年度(令和２年度)

退職団員数	自己都合	傷病			死亡		
		計	公務	その他	計	公務	その他
154	151	－	－	－	3	－	3
	在職年数						
	５年未満	５～10	10～15	15～20	20～25	25～30	30年以上
	41	21	15	29	20	16	12
新任団員数	18歳～20歳	21歳～25歳	26歳～30歳	31歳～35歳	36歳～40歳	41歳～45歳	46歳以上
137	8	25	34	31	22	10	7

(5) 消防団在職年数別団員数

2021年(令和３年)４月１日現在

階級 / 年数	計	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員
平均在職年数	12.9 (7.0)	39.0	29.1	24.8	21.1	14.4	12.4	12.0
計	2,798 (46)	1	8	68 (1)	120 (2)	172 (3)	172 (3)	2,257 (37)
５年未満	567 (16)	－	－	－	－	5	13	549 (16)
５年以上～10年未満	594 (18)	－	－	－	3	39 (2)	52 (2)	500 (14)
10年以上～15年未満	537 (5)	－	－	3	14	53	54 (1)	413 (4)
15年以上～20年未満	397 (7)	－	－	10 (1)	37 (2)	34 (1)	25	291 (3)
20年以上～25年未満	359	－	1	23	33	30	21	251
25年以上～30年未満	217	－	4	17	21	5	5	165
30年以上	127	1	3	15	12	6	2	88

※ （ ）は女性消防団員で内数

(6) 消防団年齢別団員数

2021年(令和３年)４月１日現在

階級 / 年数	計	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員
平均年齢	41.4	64.0	58.1	50.5	48.3	43.6	42.3	40.5
計	2,798 (46)	1	8	68 (1)	120 (2)	172 (3)	172 (3)	2,257 (37)
18歳以上～21歳未満	19 (2)	－	－	－	－	－	－	19 (2)
21歳以上～26歳未満	90 (1)	－	－	－	－	－	1	89 (1)
26歳以上～31歳未満	204 (2)	－	－	－	－	4	5	195 (2)
31歳以上～36歳未満	379 (7)	－	－	－	1	13	15	350 (7)
36歳以上～41歳未満	539 (4)	－	－	－	7	29	45 (1)	458 (3)
41歳以上～46歳未満	613 (6)	－	－	14	38	63 (1)	61	437 (5)
46歳以上～51歳未満	541 (10)	－	1	28	36 (1)	40 (1)	27 (1)	409 (7)
51歳以上～56歳未満	269 (7)	－	1	12	22	14 (1)	16 (1)	204 (5)
56歳以上	144 (7)	1	6	14 (1)	16 (1)	9	2	96 (5)

※ （ ）は女性消防団員で内数

(7) 消防団の団員表彰状況

2020年度(令和２年度)

区分 / 計	叙勲	消防庁長官	日本消防協会長	県知事	県消防協会長
325	2	1	38	24	260

⑻　消防団の分団別定員と実員

区分 / 分団別	定員	実員							
		計	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員
計	2,864	2,798	1	8	68	120	172	172	2,257
団本部	69	63	1	8	9	2	3	3	37
引野	50	45	−	−	1	2	3	3	36
蔵王	40	40	−	−	1	2	3	3	31
千田	40	40	−	−	1	2	3	3	31
御幸	50	47	−	−	1	2	3	3	38
大津野	50	48	−	−	1	2	3	3	39
春日	39	37	−	−	1	2	2	2	30
坪生	41	41	−	−	1	2	3	3	32
加茂	65	59	−	−	1	2	3	3	50
広瀬	25	25	−	−	1	2	1	1	20
山野	30	20	−	−	1	2	2	2	13
芦田東	53	53	−	−	1	2	4	4	42
芦田中央	40	40	−	−	1	2	3	3	31
芦田西	50	50	−	−	1	2	4	4	39
駅家	55	55	−	−	1	2	4	4	44
宜山	52	52	−	−	1	2	3	3	43
近田	20	20	−	−	1	2	1	1	15
服部	55	51	−	−	1	2	4	4	40
法成寺	31	31	−	−	1	2	2	2	24
東	25	25	−	−	1	2	1	1	20
西	25	23	−	−	1	2	2	2	16
南	25	24	−	−	1	2	1	1	19
霞	25	25	−	−	1	2	1	1	20
樹徳	31	31	−	−	1	2	2	2	24
川口	45	45	−	−	1	2	3	3	36
手城	27	27	−	−	1	2	1	1	22
深津	25	25	−	−	1	2	1	1	20
箕島	30	30	−	−	1	2	2	2	23
山郷	50	50	−	−	1	2	5	5	37
津之郷	30	30	−	−	1	2	2	2	23
赤坂	55	55	−	−	1	2	4	4	44

2021年(令和３年)４月１日現在

区分 / 分団別	定員	実員							
		計	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員
瀬戸	50	42	－	－	1	2	4	4	31
熊野	60	60	－	－	1	2	5	5	47
水呑	50	47	－	－	1	2	4	4	36
田尻	27	27	－	－	1	2	2	2	20
鞆	45	45	－	－	1	2	3	3	36
走島	55	52	－	－	1	2	3	3	43
東村	39	39	－	－	1	2	3	3	30
本郷	42	42	－	－	1	2	3	3	33
神村	72	72	－	－	1	2	6	6	57
柳津	27	27	－	－	1	2	2	2	20
金江	42	42	－	－	1	2	3	3	33
藤江	51	51	－	－	1	2	4	4	40
松永	60	60	－	－	1	2	5	5	47
高西	25	25	－	－	1	2	2	2	18
内海	72	69	－	－	1	2	4	4	58
山南	65	64	－	－	1	2	4	4	53
常石	36	36	－	－	1	2	2	2	29
千年	82	81	－	－	1	2	4	4	70
能登原	30	30	－	－	1	2	2	2	23
常金丸	95	95	－	－	1	2	4	4	84
網引	75	74	－	－	1	2	3	3	65
新市	75	75	－	－	1	2	3	3	66
戸手	50	50	－	－	1	2	2	2	43
神辺	75	75	－	－	1	2	3	3	66
御野	74	74	－	－	1	2	3	3	65
竹尋	75	75	－	－	1	2	3	3	66
湯田	56	51	－	－	1	2	2	2	44
中条	61	61	－	－	1	2	3	3	52
道上	50	50	－	－	1	2	2	2	43

(9) 消防団の分団別消防機械配置状況

区分 / 分団別	計	消防ポンプ自動車	小型動力ポンプ	積載車			その他
				小計	普通車	軽四輪車	
計	286	58	114	112	106	6	2
団本部	6	−	3	1	1	−	2
引野	5	1	2	2	2	−	−
蔵王	5	1	2	2	2	−	−
千田	5	1	2	2	2	−	−
御幸	5	1	2	2	2	−	−
大津野	5	1	2	2	2	−	−
春日	3	1	1	1	1	−	−
坪生	5	1	2	2	2	−	−
加茂	4	2	1	1	1	−	−
広瀬	2	−	1	1	1	−	−
山野	3	1	1	1	1	−	−
芦田東	7	1	3	3	3	−	−
芦田中央	5	1	2	2	2	−	−
芦田西	7	1	3	3	3	−	−
駅家	7	1	3	3	3	−	−
宜山	5	1	2	2	2	−	−
近田	2	−	1	1	1	−	−
服部	7	1	3	3	3	−	−
法成寺	3	1	1	1	1	−	−
東	1	1	−	−	−	−	−
西	3	1	1	1	1	−	−
南	1	1	−	−	−	−	−
霞	2	−	1	1	1	−	−
樹徳	3	1	1	1	1	−	−
川口	4	2	1	1	1	−	−
手城	1	1	−	−	−	−	−
深津	1	1	−	−	−	−	−
箕島	4	−	2	2	2	−	−
山郷	9	1	4	4	4	−	−
津之郷	3	1	1	1	1	−	−
赤坂	7	1	3	3	3	−	−

2021年(令和３年)４月１日現在

区分 / 分団別	計	消防ポンプ自動車	小型動力ポンプ	積載車 小計	積載車 普通車	積載車 軽四輪車	その他
瀬戸	7	1	3	3	3	－	－
熊野	9	1	4	4	4	－	－
水呑	7	1	3	3	2	1	－
田尻	4	－	2	2	2	－	－
鞆	5	1	2	2	2	－	－
走島	6	－	3	3	－	3	－
東村	5	1	2	2	2	－	－
本郷	5	1	2	2	2	－	－
神村	11	1	5	5	5	－	－
柳津	3	1	1	1	1	－	－
金江	5	1	2	2	1	1	－
藤江	7	1	3	3	3	－	－
松永	9	1	4	4	4	－	－
高西	3	1	1	1	1	－	－
内海	6	2	2	2	1	1	－
山南	7	1	3	3	3	－	－
常石	3	1	1	1	1	－	－
千年	6	2	2	2	2	－	－
能登原	3	1	1	1	1	－	－
常金丸	7	1	3	3	3	－	－
網引	5	1	2	2	2	－	－
新市	5	1	2	2	2	－	－
戸手	3	1	1	1	1	－	－
神辺	4	2	1	1	1	－	－
御野	5	1	2	2	2	－	－
竹尋	5	1	2	2	2	－	－
湯田	3	1	1	1	1	－	－
中条	5	1	2	2	2	－	－
道上	3	1	1	1	1	－	－

（注）　団本部，その他欄の２台は指揮車及び広報車

⑽　消防団の分団別活動状況

区分 / 分団別	計		火災		風水害等		訓練その他	
	出動回数	出動人員	出動回数	出動人員	出動回数	出動人員	出動回数	出動人員
計	6,689	41,950	450	4,872	7	61	6,232	37,017
団本部	2,271	3,208	70	114	－	－	2,201	3,094
引野	105	656	9	56	－	－	96	600
蔵王	99	607	6	51	－	－	93	556
千田	69	596	10	102	－	－	59	494
御幸	113	702	11	101	－	－	102	601
大津野	51	700	5	68	－	－	46	632
春日	74	609	8	88	－	－	66	521
坪生	80	618	7	77	－	－	73	541
加茂	62	856	13	196	－	－	49	660
広瀬	45	479	4	46	－	－	41	433
山野	53	528	6	86	－	－	47	442
芦田東	65	731	9	143	－	－	56	588
芦田中央	45	609	6	93	1	15	38	501
芦田西	55	694	6	117	－	－	49	577
駅家	67	739	6	77	－	－	61	662
宜山	83	692	6	69	－	－	77	623
近田	87	431	6	36	－	－	81	395
服部	43	872	4	92	－	－	39	780
法成寺	63	524	7	88	－	－	56	436
東	56	454	2	15	－	－	54	439
西	76	469	－	－	－	－	76	469
南	67	446	2	20	－	－	65	426
霞	75	469	5	20	－	－	70	449
樹徳	75	501	2	25	－	－	73	476
川口	83	659	8	97	－	－	75	562
手城	84	466	6	44	－	－	78	422
深津	62	466	1	15	－	－	61	451
箕島	85	464	5	35	－	－	80	429
山郷	46	734	3	87	－	－	43	647
津之郷	81	435	－	－	－	－	81	435
赤坂	194	681	1	11	－	－	193	670

2020年中(令和２年中)

区分 / 分団別	計		火災		風水害等		訓練その他	
	出動回数	出動人員	出動回数	出動人員	出動回数	出動人員	出動回数	出動人員
瀬戸	87	324	6	21	－	－	81	303
熊野	69	806	10	241	－	－	59	565
水呑	76	707	16	197	－	－	60	510
田尻	79	396	5	44	－	－	74	352
鞆	79	608	5	43	1	10	73	555
走島	50	682	－	－	1	5	49	677
東村	49	597	1	8	－	－	48	589
本郷	87	609	2	25	－	－	85	584
神村	67	887	6	47	－	－	61	840
柳津	72	487	3	20	－	－	69	467
金江	83	629	8	62	1	11	74	556
藤江	57	708	6	49	－	－	51	659
松永	91	753	5	38	1	5	85	710
高西	47	465	3	16	－	－	44	449
内海	77	785	3	58	－	－	74	727
山南	90	823	14	132	－	－	76	691
常石	82	567	7	52	－	－	75	515
千年	88	975	13	245	－	－	75	730
能登原	81	500	7	37	－	－	74	463
常金丸	71	1,066	2	81	－	－	69	985
網引	125	890	5	99	－	－	120	791
新市	89	868	3	37	1	9	85	822
戸手	78	670	4	69	－	－	74	601
神辺	68	933	15	200	－	－	53	733
御野	67	926	11	150	－	－	56	776
竹尋	66	924	15	122	－	－	51	802
湯田	71	751	13	218	－	－	58	533
中条	74	806	15	250	1	6	58	550
道上	55	713	13	242	－	－	42	471

⑾　消防団の沿革

1868年(明治元年)	竜吐水８台を酒屋８軒が備え，町内の青壮年が消防に従事する。
1889年(明治22年) ６月１日	市制町村制により福山町になる。
12月28日	「消防組規制」広島県令が出る。
1893年(明治26年)	英人宣教師ベツールが舶来の手押しポンプ１台を移入し，私設福山町消防組を設置する。
1894年(明治27年) ２月	勅令により消防組規制が制定され，私設消防組を町営消防組に改める。
1910年(明治43年) ５月20日	公設福山町消防組を設置，組頭以下80人とする。
1916年(大正５年) ７月１日	福山市制施行
７月10日	市制施行により福山市消防組に改編し，組頭以下130人とする。(消防屯所１カ所，纏２本，梯子４基，手押しポンプ３台，運水器26個)
1919年(大正８年) 11月13日	広島県下で最初の四輪手挽ポンプ25馬力１台を購入する。
1920年(大正９年) ７月１日	福山市水防組を設置，水防長以下57人とする。
1925年(大正14年)	２台目の自動車ポンプを購入する。
1927年(昭和２年) １月18日	福山市消防組員600人となる。
1932年(昭和７年) 12月26日	広島県知事から金馬簾を授与される。
1933年(昭和８年) ２月22日	防護団を設置する。
1934年(昭和９年) ４月10日	福山市消防組を18組592人で編成する。
1939年(昭和14年) ４月１日	消防団令公布により，消防組と防護団を解体し警防団を結成，団長以下1,044人とする。(自動車ポンプ３台，手挽ポンプ１台，腕用ポンプ１台)
1942年(昭和17年) ７月１日	山手村・郷分村を合併，警防団は９分団1,357人となる。
1944年(昭和19年) ２月８日	警防団員1,439人となる。
1947年(昭和22年) ８月４日	消防団令の公布施行により福山市消防団を設置，消防団の定員を725人とする。
1952年(昭和27年) ５月９日	福山市消防団は９分団，定員690人となる。（ポンプ自動車４台，三輪ポンプ自動車４台，手挽ポンプ４台，腕用ポンプ21台)
1954年(昭和29年) 11月９日	広島県消防協会長から竿頭綬を授与される。
1956年(昭和31年) ９月30日	瀬戸村・熊野村・水呑町・鞆町等10町村を合併し，消防団は21分団2,789人となる。
11月23日	広島県知事から竿頭金馬簾を授与される。
1957年(昭和32年) ３月４日	福山市消防団条例を制定，21分団2,069人とする。
1961年(昭和36年) ２月11日	日本消防協会長から竿頭綬を授与される。
４月１日	消防団員退職報償金制度を実施する。
1962年(昭和37年) １月１日	深安町を合併，消防団を改編し定員1,833人とする。
1966年(昭和41年) ５月１日	松永市と合併，消防団を改編し33分団2,658人とする。 消防団員退職報償金支給条例を施行する。
1967年(昭和42年) ３月７日	消防庁長官から竿頭綬を授与される。
11月９日	広島県消防協会長から表彰旗を授与される。

1971年(昭和46年) 4月 1日	消防団の総合整備を実施，定員を2,169人とする。
1973年(昭和48年) 6月 1日	消防団の総合整備を実施，定員を1,608人とする。
1974年(昭和49年) 2月20日	日本消防協会長から表彰旗を授与される。
4月 1日	芦田町を合併，消防団を改編し36分団1,956人とする。
1975年(昭和50年) 2月 1日	駅家町・加茂町を合併，消防団を改編し50分団2,636人とする。
1976年(昭和51年) 7月15日	消防団の総合整備を実施，定員を2,130人とする。
7月27日	広島県消防ポンプ操法競技大会（小型動力ポンプの部）で，芦田西分団が優勝する。
1978年(昭和53年) 10月15日	第 6 回全国消防操法大会（小型動力ポンプの部）へ，県代表として芦田西分団が出場，日本消防協会長から竿頭綬を授与される。
1984年(昭和59年) 3月 9日	消防庁長官から表彰旗を授与される。
1985年(昭和60年) 9月12日	広島県消防ポンプ操法競技大会（小型動力ポンプの部）で，芦田西分団が優勝する。
1986年(昭和61年) 10月14日	第10回全国消防操法大会に出場した芦田西分団は，小型動力ポンプの部において準優勝する。
1987年(昭和62年) 9月 8日	広島県消防ポンプ操法競技大会（消防ポンプ自動車の部）で，東分団が優勝する。
1988年(昭和63年) 3月 9日	日本消防協会長から，特別表彰「まとい」を授与される。
10月12日	第11回全国消防操法大会（消防ポンプ自動車の部）へ，県代表として東分団が出場する。
1989年(平成元年) 4月 1日	消防団の総合整備を実施，定員を1,820人とする。
9月14日	広島県消防ポンプ操法競技大会（小型動力ポンプの部）で，芦田東分団が優勝する。
1990年(平成 2 年) 10月12日	第12回全国消防操法大会へ出場した芦田東分団は，小型動力ポンプの部において優良賞を授与される。
1993年(平成 5 年) 9月14日	広島県消防ポンプ操法競技大会（小型動力ポンプの部）で，本郷分団が優勝する。
1994年(平成 6 年) 10月13日	第14回全国消防操法大会（小型動力ポンプの部）へ，県代表として本郷分団が出場する。
1997年(平成 9 年) 9月 5日	広島県消防ポンプ操法競技大会（小型動力ポンプの部）で，芦田東分団が優勝する。
1998年(平成10年) 10月 8日	第16回全国消防操法大会（小型動力ポンプの部）へ，県代表として芦田東分団が出場する。
1999年(平成11年) 9月10日	広島県消防ポンプ操法競技大会（消防ポンプ自動車の部）で，蔵王分団が優勝する。
2000年(平成12年) 10月19日	第17回全国消防操法大会へ出場した蔵王分団は，消防ポンプ自動車の部において優良賞を授与される。
2001年(平成13年) 9月11日	広島県消防ポンプ操法競技大会（小型動力ポンプの部）で，山野分団が準優勝する。

2003年(平成15年) 2月 3日	内海町・新市町を合併，消防団を改編し51分団2,236人とする。
9月 9日	広島県消防ポンプ操法競技大会（消防ポンプ自動車の部）で，芦田中央分団が優勝する。
2004年(平成16年) 11月 8日	第19回全国消防操法大会へ出場した芦田中央分団は，消防ポンプ自動車の部において全国優勝する。
2005年(平成17年) 2月 1日	沼隈町を合併，消防団を55分団2,464人とする。
9月13日	広島県消防ポンプ操法競技大会（小型動力ポンプの部）で，蔵王分団が優勝する。
2006年(平成18年) 3月 1日	神辺町を合併，消防団を61分団2,864人とする。
4月 1日	女性消防団員26人が入団する。
10月19日	第20回全国消防操法大会へ出場した蔵王分団は，小型動力ポンプの部において敢闘賞を授与される。
2007年(平成19年) 2月20日	平成18年1月11日の本郷町林野火災の功労に対して，消防庁長官から褒状を授与される。
9月11日	広島県消防ポンプ操法競技大会（消防ポンプ自動車の部）で，法成寺分団が優勝する。
2008年(平成20年) 4月 1日	福山市消防団協力事業所表示制度実施要綱を制定し，25事業所へ表示証を交付する。
10月12日	第21回全国消防操法大会へ出場した法成寺分団は，消防ポンプ自動車の部において優良賞を授与される。
2009年(平成21年) 9月 9日	広島県消防ポンプ繰法競技大会（小型動力ポンプの部）で，芦田西分団が優勝する。
2010年(平成22年) 2月22日	団本部へ指揮車1台が寄贈される。
11月12日	第22回全国消防操法大会へ出場した芦田西分団は，小型動力ポンプの部において準優勝する。
2011年(平成23年) 9月10日	広島県消防ポンプ操法競技大会（消防ポンプ自動車の部）で，蔵王分団が優勝する。
2012年(平成24年) 10月 7日	第23回全国消防操法大会へ出場した蔵王分団は，消防ポンプ自動車の部において準優勝する。
2013年(平成25年) 9月 7日	広島県消防ポンプ操法競技大会（小型動力ポンプの部）で，道上分団が優勝する。
2014年(平成26年) 11月 8日	第24回全国消防操法大会へ出場した道上分団は，小型動力ポンプの部において準優勝する。
2015年(平成27年) 3月 6日	消防庁長官から竿頭綬を授与される。
4月 1日	内海町3分団を統廃合，内海町1分団とする。 女性分団（50人）を発足し，消防団を改編し60分団2,864人とする。 福山市消防団員サポート店登録要綱を制定し，消防団員を民間でサポートする仕組みを充実させる。
9月 5日	広島県消防ポンプ操法競技大会（消防ポンプ自動車の部）で，芦田西分団が優勝する。

2016年(平成28年)10月14日	第25回全国消防操法大会（消防ポンプ自動車の部）へ，県代表として芦田西分団が出場する。
2017年(平成29年) 4月 1日	消防団員の就職活動を支援することを目的に，福山市学生消防団員活動認証制度実施要綱を制定する。
9月 2日	広島県消防ポンプ操法競技大会（小型動力ポンプの部）で，芦田東分団が優勝する。
12月12日	団本部へ広報車１台が寄贈される。
2018年(平成30年)10月19日	第26回全国消防操法大会へ出場した芦田東分団は，小型動力ポンプの部において優良賞を授与される。
12月20日	平成30年７月豪雨の功労に対して，総務大臣から感謝状を授与される。
2019年(平成31年) 2月10日	平成30年７月豪雨の功労に対して，消防庁長官から表彰状を授与される。
2月13日	平成30年７月豪雨の功労に対して，国土交通大臣から表彰状を授与される。
2019年(令和元年) 9月 1日	平成30年７月豪雨の功労に対して，内閣総理大臣から表彰状を授与される。
9月 7日	広島県消防ポンプ操法競技大会（消防ポンプ自動車の部）で，服部分団が優勝する。
11月13日	第24回全国女性消防操法大会へ，県代表として女性分団が出場する。

2．府中市消防団

2021年(令和３年)４月１日現在

人　　口	37,864 人
世　　帯	17,216 世帯
面　　積	195.75 ㎢

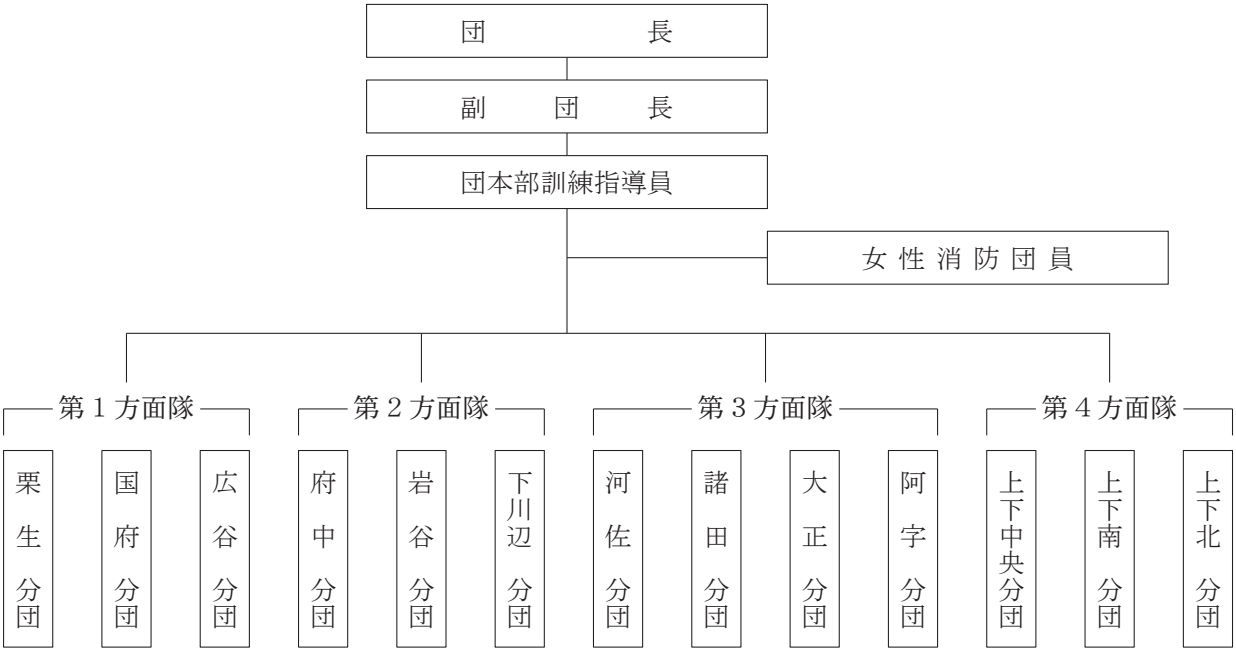
府中市章

「フ」と「中」をデフォルメし，円満のうちに大きく発展上昇の意を表しています。

(1) 消防団の分団配置図

庄原市
上下北分団
三次市
神石高原町
上下中央分団
上下南分団
第４方面隊
大正分団
世羅町
阿字分団
福山市
岩谷分団
第３方面隊
河佐分団
広谷分団
諸田分団
府中分団
国府分団
尾道市
下川辺分団
栗生分団
福山市
第２方面隊
第１方面隊

(2) 消防団の組織図



(3) 消防団の定員と報酬

2021年(令和3年)4月1日現在

区分＼階級	計	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員
定員	846	1	4	21	26	49	115	630
職務報酬	(年額)	73,000	50,000	40,000	30,000	22,000	16,000	14,000
出動報酬	出動1回につき2,100円以内							

(4) 消防団員退職・新任状況

2020年度(令和2年度)

退職団員数	自己都合	傷病			死亡		
		計	公務	その他	計	公務	その他
38	37	−	−	−	1	−	1
	在職年数						
	5年未満	5～10	10～15	15～20	20～25	25～30	30年以上
	1	2	1	5	4	10	15
新任団員数	18歳～20歳	21歳～25歳	26歳～30歳	31歳～35歳	36歳～40歳	41歳～45歳	46歳以上
6	−	1	−	1	2	−	1

(5) 消防団在職年数別団員数

2021年(令和３年)４月１日現在

階級 / 年数	計	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員
平均在職年数	17.1 (6.3)	34.0	25.0	23.7	22.8	20.2	16.4	16.3
計	754 (14)	1	4	21	26	49 (1)	114 (1)	539 (12)
５年未満	73 (3)	－	－	－	－	2	5	66 (3)
５年以上～10年未満	122 (11)	－	－	－	－	3 (1)	17 (1)	102 (9)
10年以上～15年未満	119	－	－	2	1	3	26	87
15年以上～20年未満	119	－	1	2	6	12	29	69
20年以上～25年未満	131	－	－	7	11	13	21	79
25年以上～30年未満	105	－	3	7	5	13	9	68
30年以上	85	1	－	3	3	3	7	68

※ （ ）は女性消防団員で内数

(6) 消防団年齢別団員数

2021年(令和３年)４月１日現在

階級 / 年数	計	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員
平均年齢	45.0	59.0	51.8	49.5	47.7	47.3	44.4	43.3
計	754 (14)	1	4	21	26	49 (1)	114 (1)	539 (12)
18歳以上～21歳未満	1	－	－	－	－	－	－	1
21歳以上～26歳未満	16 (1)	－	－	－	－	－	1	15 (1)
26歳以上～31歳未満	36 (1)	－	－	－	－	－	3	33 (1)
31歳以上～36歳未満	49	－	－	－	－	1	4	44
36歳以上～41歳未満	130 (3)	－	－	1	2	5	21	101 (3)
41歳以上～46歳未満	143 (2)	－	－	2	5	11	31	94 (2)
46歳以上～51歳未満	152	－	1	9	4	20	36	82
51歳以上～56歳未満	127 (3)	－	2	6	10	8	13	88 (3)
56歳以上	100 (4)	1	1	3	5	4 (1)	5 (1)	81 (2)

※ （ ）は女性消防団員で内数

(7) 消防団の団員表彰状況

2020年度(令和２年度)

区分 / 計	叙勲	消防庁長官	日本消防協会長	県知事	県消防協会長
130	－	4	22	23	81

⑻　消防団の分団別定員と実員

2021年（令和３年）４月１日現在

区分 / 分団別	定員	実員							
		計	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員
計	846	754	1	4	21	26	49	114	539
本部	43	27	1	4	8	－	1	1	12
栗生	65	58	－	－	1	2	4	8	43
国府	53	58	－	－	1	2	3	6	46
広谷	70	65	－	－	1	2	4	10	48
府中	55	45	－	－	1	2	4	8	30
岩谷	70	56	－	－	1	2	4	10	39
下川辺	72	63	－	－	1	2	4	9	47
河佐	54	51	－	－	1	2	3	7	38
諸田	33	31	－	－	1	2	2	5	21
大正	50	42	－	－	1	2	3	7	29
阿字	46	43	－	－	1	2	2	6	32
上下中央	80	65	－	－	1	2	4	12	46
上下南	70	75	－	－	1	2	5	13	54
上下北	85	75	－	－	1	2	6	12	54

⑼　消防団の分団別消防機械配置状況

2021年（令和３年）４月１日現在

区分 / 分団別	計	消防ポンプ自動車	小型動力ポンプ	積載車			その他
				小計	普通車	軽四輪車	
計	82	9	36	35	32	3	2
本部	3	－	1	－	－	－	2
栗生	7	1	3	3	3	－	－
国府	1	1	－	－	－	－	－
広谷	5	1	2	2	1	1	－
府中	3	1	1	1	1	－	－
岩谷	7	1	3	3	3	－	－
下川辺	7	1	3	3	2	1	－
河佐	6	－	3	3	2	1	－
諸田	6	－	3	3	3	－	－
大正	5	1	2	2	2	－	－
阿字	4	－	2	2	2	－	－
上下中央	6	2	2	2	2	－	－
上下南	10	－	5	5	5	－	－
上下北	12	－	6	6	6	－	－

（注）　本部，その他欄の２台は指揮車及び広報車

⑽　消防団の分団別活動状況

2020年中（令和２年中）

区分 / 分団別	計		火災		風水害等		訓練その他	
	出動回数	出動人員	出動回数	出動人員	出動回数	出動人員	出動回数	出動人員
計	294	4,697	60	728	63	704	171	3,265
本部	42	333	15	67	12	69	15	197
栗生	19	341	3	32	4	62	12	247
国府	21	393	5	105	4	52	12	236
広谷	22	409	5	85	5	72	12	252
府中	20	322	3	42	5	73	12	207
岩谷	20	386	2	17	6	121	12	248
下川辺	18	371	3	21	3	46	12	304
河佐	17	236	1	20	4	20	12	196
諸田	16	168	1	12	3	19	12	137
大正	16	230	1	16	3	34	12	180
阿字	16	241	1	15	3	35	12	191
上下中央	22	408	7	107	3	34	12	267
上下南	22	398	6	74	4	37	12	287
上下北	23	461	7	115	4	30	12	316

⑾　消防団の沿革

1954年（昭和29年）３月31日	府中市制施行に伴い24分団，団員1,048人で発足
1955年（昭和30年）11月１日	組織の改正を図り，分団数21に統合し，団員定数を800人とする。
1956年（昭和31年）９月30日	河佐村，諸田村及び三郎丸の一部を編入し，分団数26，総員997人となる。
1958年（昭和33年）２月11日	日本消防協会長から表彰旗を受賞
1959年（昭和34年）３月７日	国家消防本部から竿頭綬を受賞
４月１日	消防団改編により，１団本部８分団，総員576人となる。
1960年（昭和35年）３月１日	国家消防本部長から最高栄誉の国家表彰旗を受賞
1963年（昭和38年）９月18日	広島県消防ポンプ操法競技大会（小型動力ポンプの部）に出場
1968年（昭和43年）９月10日	広島県消防ポンプ操法競技大会（小型動力ポンプの部）に出場し，初優勝
1970年（昭和45年）10月15日	第２回全国消防操法大会（小型動力ポンプの部）へ広島県代表として広谷分団第４部が出場し，第２位に入賞
1972年（昭和47年）１月１日	消防団員591人となる。
９月13日	広島県消防ポンプ操法競技大会（消防ポンプ自動車の部）に出場
1973年（昭和48年）11月27日	広島県消防協会長から自治体消防25周年に当たり，優良消防団として盾及び表彰状を受けた。
1975年（昭和50年）２月１日	協和村との合併に伴う条例改正により，分団を10分団，総員726人となる。
1976年（昭和51年）７月27日	広島県消防ポンプ操法競技大会（小型動力ポンプの部）に出場

1980年(昭和55年) 7月23日	広島県消防ポンプ操法競技大会（小型動力ポンプの部）に出場
1983年(昭和58年) 9月13日	広島県消防ポンプ操法競技大会（消防ポンプ自動車の部）に出場
1984年(昭和59年) 2月10日	第35回日本消防協会特別表彰「まとい」を受賞
1985年(昭和60年) 9月12日	広島県消防ポンプ操法競技大会（小型動力ポンプの部）に出場
1987年(昭和62年) 2月20日	消防団緊急伝達システム5基を設置
9月 8日	広島県消防ポンプ操法競技大会（消防ポンプ自動車の部）に出場
1989年(平成元年) 9月14日	広島県消防ポンプ操法競技大会（小型動力ポンプの部）に出場し，第3位に入賞
1991年(平成3年) 9月12日	広島県消防ポンプ操法競技大会（消防ポンプ自動車の部）に出場し，優勝
1992年(平成4年) 10月14日	第13回全国消防操法大会（消防ポンプ自動車の部）へ広島県代表として大正分団が出場し，優良賞（第6位）を受賞
1993年(平成5年) 9月14日	広島県消防ポンプ操法競技大会（小型動力ポンプの部）に出場
1995年(平成7年) 9月14日	広島県消防ポンプ操法競技大会（消防ポンプ自動車の部）に出場
1997年(平成9年) 9月 5日	広島県消防ポンプ操法競技大会（小型動力ポンプの部）に出場
1998年(平成10年) 11月27日	台風10号による洪水に対しての水防の功績により建設大臣から「水防功労者」を受賞
1999年(平成11年) 9月10日	広島県消防ポンプ操法競技大会（消防ポンプ自動車の部）に出場
2001年(平成13年) 9月11日	広島県消防ポンプ操法競技大会（小型動力ポンプの部）に出場
2002年(平成14年) 10月 1日	条例改正により，総員670人となる。
2004年(平成16年) 4月 1日	上下町との合併に伴う条例改正により，分団を13分団，総員970人となる。
2005年(平成17年) 9月13日	広島県消防ポンプ操法競技大会（小型動力ポンプの部）に出場
2007年(平成19年) 9月11日	広島県消防ポンプ操法競技大会（消防ポンプ自動車の部）に出場し，準優勝
2008年(平成20年) 10月 1日	条例改正により，総員920人となる。
2009年(平成21年) 9月 9日	広島県消防ポンプ操法競技大会（小型動力ポンプの部）に出場し，準優勝
2011年(平成23年) 9月10日	広島県消防ポンプ操法競技大会（消防ポンプ自動車の部）に出場
2012年(平成24年) 11月 1日	女性消防団員5人が入団する。
2013年(平成25年) 9月 7日	広島県消防ポンプ操法競技大会（小型動力ポンプの部）に出場
2014年(平成26年) 11月25日	女性消防団に広報車が貸与される。
2015年(平成27年) 9月 5日	広島県消防ポンプ操法競技大会（消防ポンプ自動車の部）に出場
2017年(平成29年) 9月 2日	広島県消防ポンプ操法競技大会（小型動力ポンプの部）に出場
10月 1日	条例改正により，総員846人となる。
2018年(平成30年) 12月20日	平成30年7月豪雨の功労に対して，総務大臣から感謝状を授与される。
2019年(平成31年) 2月10日	平成30年7月豪雨の功労に対して，消防庁長官から表彰状を授与される。
2019年(令和元年) 9月 1日	平成30年7月豪雨の功労に対して，内閣総理大臣から表彰状を授与される。
9月 7日	広島県消防ポンプ操法競技大会（消防ポンプ自動車の部）に出場し，第3位に入賞

3．神石高原町消防団

2021年(令和３年)４月１日現在

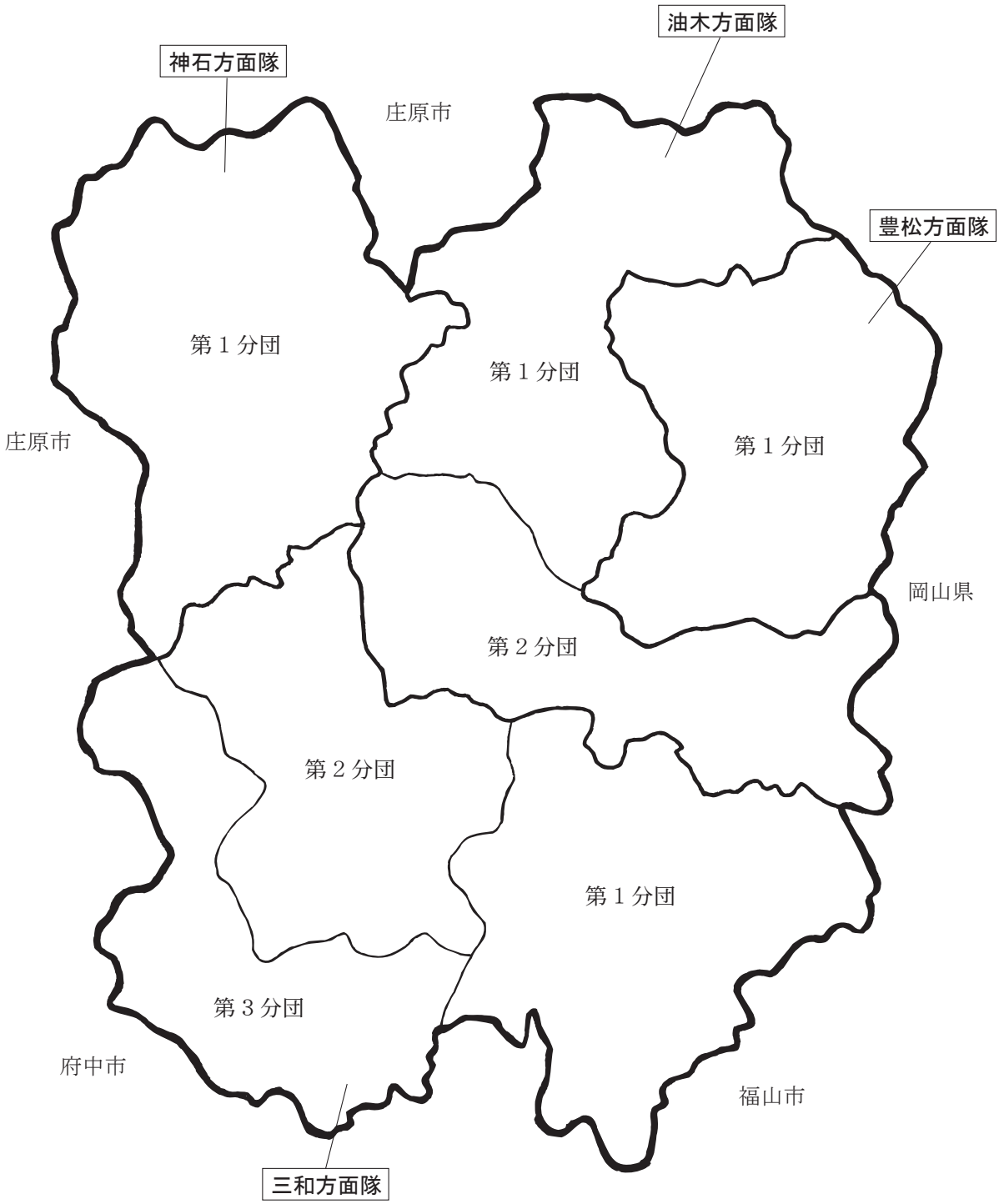
人　　口	8,631 人
世　　帯	3,912 世帯
面　　積	381.98 ㎢

神石高原町章

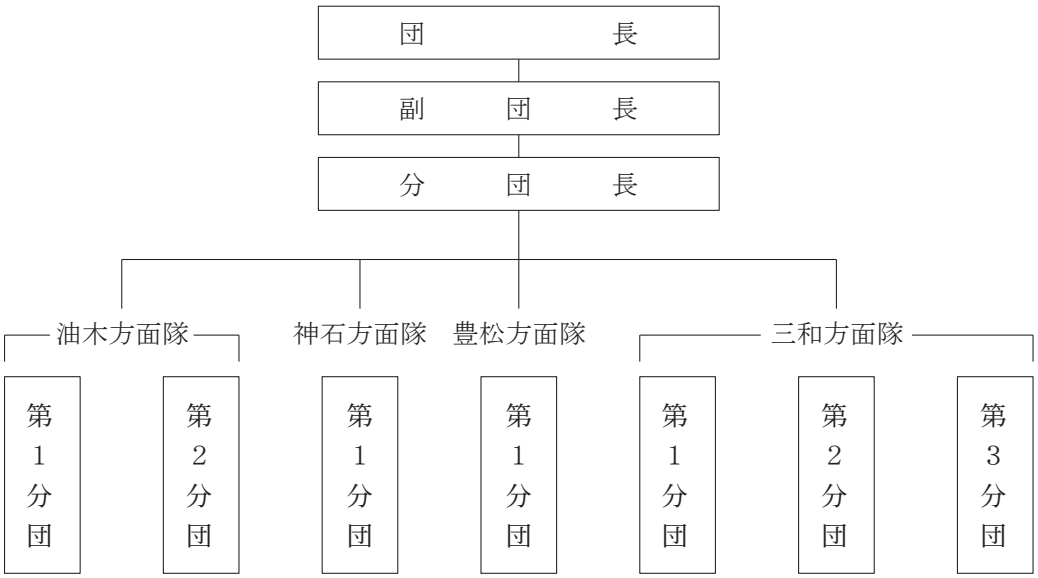
神石高原の「じ」の形を，高原の自然の源となる「太陽」「星」「月」のパーツを配して表現しています。

また，星（夢・未来・輝き）に向かい手を広げ掴もうとする姿を現し，対外的には神石高原町の民の社会貢献と前向きな姿勢を象徴しています。

(1) 消防団の分団配置図


油木方面隊
神石方面隊
庄原市
豊松方面隊
第１分団
第１分団
庄原市
第１分団
岡山県
第２分団
第２分団
第１分団
第３分団
府中市
福山市
三和方面隊

(2) 消防団の組織図



(3) 消防団の定員と報酬

2021年(令和３年)４月１日現在

区分＼階級	計	団　長	副団長	分団長	副分団長	部　長	班　長	団　員(機能別団員)
定　員	715	1	4	20	28	26	101	500 (35)
職務報酬	(年額)	78,000	58,000	48,000	41,000	36,000	26,000	18,500 (9,000)
出動報酬	出動１回につき3,300円（警戒・訓練・その他）							

(4) 消防団員退職・新任状況

2020年度(令和２年度)

退職団員数	自己都合	傷病			死亡		
		計	公務	その他	計	公務	その他
46	46	－	－	－	－	－	－
	在職年数						
	５年未満	５～10	10～15	15～20	20～25	25～30	30年以上
	2	9	3	6	3	7	16
新任団員数	18歳～20歳	21歳～25歳	26歳～30歳	31歳～35歳	36歳～40歳	41歳～45歳	46歳以上
15	2	4	2	2	1	1	3

(5) 消防団在職年数別団員数

2021年(令和３年)４月１日現在

階級 / 年数	計	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員
平均在職年数	16.1	29.0	31.8	26.8	21.6	21.1	13.6	15.5
計	628	1	4	20	28	26	101	448
５年未満	101	－	－	－	－	－	7	94
５年以上～10年未満	92	－	－	－	1	2	27	62
10年以上～15年未満	93	－	－	－	2	4	26	61
15年以上～20年未満	88	－	－	1	4	1	19	63
20年以上～25年未満	119	－	－	5	14	12	14	74
25年以上～30年未満	71	1	1	9	6	5	6	43
30年以上	64	－	3	5	1	2	2	51

(6) 消防団年齢別団員数

2021年(令和３年)４月１日現在

階級 / 年数	計	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員
平均年齢	43.0	57.0	54.5	50.0	45.9	47.2	39.6	42.9
計	628	1	4	20	28	26	101	448
18歳以上～21歳未満	1	－	－	－	－	－	－	1
21歳以上～26歳未満	26	－	－	－	－	－	2	24
26歳以上～31歳未満	44	－	－	－	－	－	7	37
31歳以上～36歳未満	78	－	－	－	－	－	23	55
36歳以上～41歳未満	100	－	－	－	4	2	19	75
41歳以上～46歳未満	138	－	－	2	9	6	34	87
46歳以上～51歳未満	111	－	－	9	13	13	12	64
51歳以上～56歳未満	67	－	3	8	2	4	3	47
56歳以上	63	1	1	1	－	1	1	58

(7) 消防団の団員表彰状況

2020年度(令和２年度)

区分 / 計	叙勲	消防庁長官	日本消防協会長	県知事	県消防協会長
93	－	－	25	6	62

⑻　消防団の分団別定員と実員

2021年（令和３年）４月１日現在

区分 / 分団別	定員	実員							
		計	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員
計	715	628	1	4	20	28	26	101	448
本部	715	2	1	－	－	－	－	－	1
油木方面隊本部		5	－	1	3	－	1	－	－
第１分団		76	－	－	1	4	4	8	59
第２分団		79	－	－	1	4	4	8	62
神石方面隊本部		5	－	1	4	－	－	－	－
第１分団		130	－	－	1	4	4	19	102
豊松方面隊本部		5	－	1	3	－	1	－	－
第１分団		73	－	－	1	4	2	12	54
三和方面隊本部		5	－	1	3	－	1	－	－
第１分団		67	－	－	1	4	3	18	41
第２分団		105	－	－	1	4	3	18	79
第３分団		76	－	－	1	4	3	18	50

⑼　消防団の分団別消防機械配置状況

2021年（令和３年）４月１日現在

区分 / 分団別	計	消防ポンプ自動車	小型動力ポンプ	積載車			その他
				小計	普通車	軽四輪車	
計	58	9	24	21	20	1	4
本部	－	－	－	－	－	－	－
油木方面隊本部	1	－	－	－	－	－	1
第１分団	12	1	7	4	3	1	－
第２分団	7	1	3	3	3	－	－
神石方面隊本部	1	－	－	－	－	－	1
第１分団	14	2	6	6	6	－	－
豊松方面隊本部	1	－	－	－	－	－	1
第１分団	6	2	2	2	2	－	－
三和方面隊本部	1	－	－	－	－	－	1
第１分団	5	1	2	2	2	－	－
第２分団	5	1	2	2	2	－	－
第３分団	5	1	2	2	2	－	－

（注）　各方面隊本部，その他欄の４台は指揮車

⑽　消防団の分団別活動状況

2020年中（令和２年中）

区分 / 分団別	計		火災		風水害等		訓練その他	
	出動回数	出動人員	出動回数	出動人員	出動回数	出動人員	出動回数	出動人員
計	84	1,531	47	562	6	18	31	951
本部	14	16	11	11	1	1	2	4
油木方面隊本部	8	28	4	15	1	2	3	11
第１分団	7	191	4	77	－	－	3	114
第２分団	5	186	2	49	－	－	3	137
神石方面隊本部	6	25	3	13	1	2	2	10
第１分団	6	297	3	122	1	8	2	167
豊松方面隊本部	4	15	1	2	1	3	2	10
第１分団	3	147	1	40	－	－	2	107
三和方面隊本部	9	32	5	18	1	2	3	12
第１分団	8	159	5	55	－	－	3	104
第２分団	7	280	4	114	－	－	3	166
第３分団	7	155	4	46	－	－	3	109

⑾　消防団の沿革

1947年(昭和22年) 8 月	油木町消防団発足する。定員350人
	豊松村消防団発足する。定員400人
1954年(昭和29年)11月	神石町消防団発足する。定員500人
1955年(昭和30年) 3 月	三和町消防団発足する。定員900人
1969年(昭和44年) 4 月	三和町消防団機構改革により 3 分団制となる。定員300人
2000年(平成12年) 9 月	油木町消防団員の定数を230人とする。
2001年(平成13年) 6 月	豊松村消防団員の定数を150人とする。
2004年(平成16年) 1 月	神石町消防団機構改革により 2 分団制となる。定員200人
11月	神石郡四町村合併により神石高原町消防団となる。定員800人 旧消防団の管轄区域を方面隊とし，油木方面隊・神石方面隊・豊松方面隊・三和方面隊の 4 方面隊体制となる。
2005年(平成17年) 9 月	平成17年度広島県消防ポンプ操法競技大会出場　優良賞（第 4 位）
2007年(平成19年) 9 月	平成19年度広島県消防ポンプ操法競技大会出場　優良賞（第 6 位）
2008年(平成20年) 3 月	神石高原町消防団員の定数を760人とする。
2011年(平成23年) 9 月	平成23年度広島県消防ポンプ操法競技大会出場　優良賞（第 7 位）
2013年(平成25年) 1 月	神石高原町消防団機構改革により，神石方面隊・豊松方面隊を 1 分団制とする。
4 月	神石高原町消防団員の定数を700人とする。
2015年(平成27年) 9 月	平成27年度広島県消防ポンプ操法競技大会出場　優良賞（第 4 位）
2018年(平成30年) 1 月	神石高原町消防団員機構改革により，機能別団員制度を導入し，定数を715人とする。
12月	平成30年 7 月豪雨の功労に対して，総務大臣から感謝状を授与される。
2019年(平成31年) 2 月	平成30年 7 月豪雨の功労に対して，消防庁長官から表彰状を授与される。

4．構成市町消防団集計

2021年（令和３年）４月１日現在

区分 / 構成団体別	分団数	定員	実員 計	団長	副団長	分団長・分団長級	副分団長	部長	班長	団員	平均年齢
計	80	4,425	4,180 (60)	3	16	109 (1)	174 (2)	247 (4)	387 (4)	3,244 (49)	42.3
福山市	60	2,864	2,798 (46)	1	8	68 (1)	120 (2)	172 (3)	172 (3)	2,257 (37)	41.4
府中市	13	846	754 (14)	1	4	21	26	49 (1)	114 (1)	539 (12)	45.0
神石高原町	7	715	628	1	4	20	28	26	101	448	43.0

※（　）は女性消防団員で内数

2021年（令和３年）４月１日現在

区分 / 構成団体別	計	消防ポンプ自動車	小型動力ポンプ	積載車 小計	普通車	軽四輪車	その他
計	426	76	174	168	158	10	8
福山市	286	58	114	112	106	6	2
府中市	82	9	36	35	32	3	2
神石高原町	58	9	24	21	20	1	4